

# 天城町立兼久小学校

## ～あまぎ学の学習～



地域を見つめ直し，育った環境に愛着や誇りをもつことを目的に「あまぎ学」の学習を行っている。遺跡等についても事前学習を行い，質問等をまとめ，学芸員に質問したり，その後，学級で見学したことをまとめたりしている。その学習方法は「われんきゃガイド」（総合的な学習の時間）の学習につながっている。

### (1) 下原洞穴遺跡

縄文時代の墓や奄美群島で最古の土器が発見された遺跡である。また大量の磨製石鏃が出土しており，工具なども見つかったことから，磨製石鏃を製作していた場所であったとも考えられている。

### (2) 戸森の線刻画

三つの岩盤に船や弓矢などの画が線刻によって描かれたもので，現在のところ，このような線刻画は奄美群島で徳之島でしか確認されていない。第一線刻画に最も大きく描かれた船の線刻画は帆が縦線で描かれることから，布帆（木綿帆）が普及した江戸時代以降の船が描かれた可能性が高いと考えられる。

### (3) 浅間湾屋洞穴（通称ウンブキ）

約400m以西で海とつながる水中鍾乳洞（海底洞窟）である。2019年，水中探検家・広部俊明氏により，洞窟の奥行きが直線距離にして700mあることが確認され，国内最大級の海底鍾乳洞となった。さらに，同氏が洞内から持ち帰った土器には下原洞穴遺跡の7000年以前の地層から出土した土器と共通する文様が施されていたことで，注目を集めている。